

『地図調査なし』『現地を見
なし』で即興オリエンテー
リング運営？

突然のオリエンテーリング講習

5月30日、愛知県内の甚目寺(じもくじ)町福祉会館で行われたとある講演で、筆者は講師として話す機会に恵まれました。聴衆は、周辺各市町村から集まった約80人の「児童厚生員」。この記事では、そこで行われた講演内容を報告します。

この講演は元々、愛知教育大学保健体育講座教授として野外活動指導にも取り組む合屋十四秋先生に依頼された「子どもに教えらる簡単な野外活動の紹介」を目的とするものでした。この4年間、先生が受け持つ授業の中で行われる「学内オリエンテーリング」の手伝いを続けてきた筆者にも割り当ての時間中半分(約40分)を担当するよう指示があり、「簡単に準備でき、子どもが楽しめるオリエンテーリング」を実施することとなりました。

前半40分は合屋先生から「野外活動の魅力」や「大学の授業でのオリエンテーリングの実践例」が伝えられました。聴衆全員が児童館や児童クラブ等のスタッフとして子どもに遊びを教える機会の多い児童厚生員とあって、皆さん興味深そうに聴いていました。

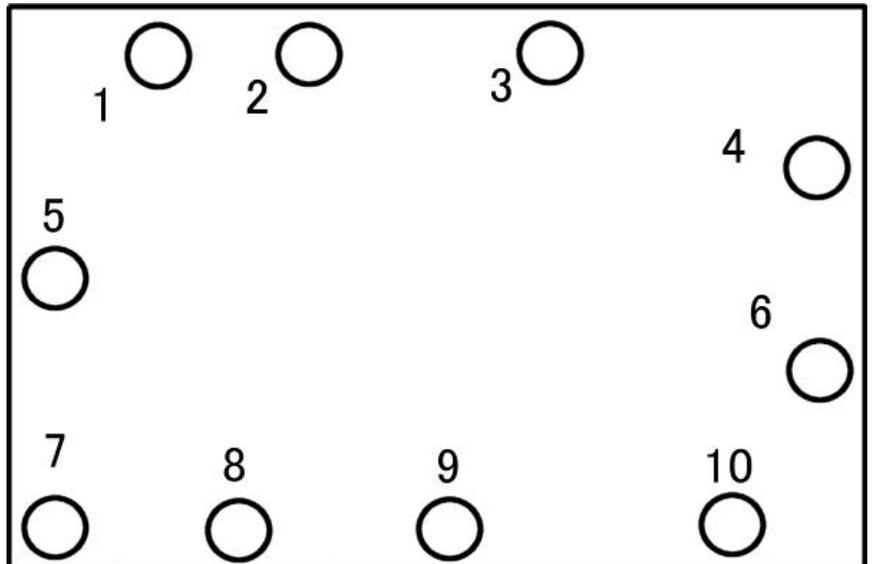
後半は筆者の担当する「実技を通しての指導」となります。今回の準備に当たっては下記のような制約がありました。

- ・現地を下見する機会がなかった
- ・初心者80人に40分で理解、実践してもらえる実技でなければならない
- ・聴衆への情報発信の機会が限られており、当日の詳細な講義内容は伝えることができなかった。恐らく、聴衆は普段着で来場する。

こうした制約の中で筆者が立案したプログラムは次のものでした。

図のような、長方形の四辺付近に10個の円を描いた「O-map」を用意する。

「長方形」は講義室を表す。磁北



線を引いていないので、「このラインが、皆さんから見て正面の壁です」と現地で指定して方向を理解してもらう。縦横の比率は適当に作図したため、教室の見た目とかけ離れる恐れもあるが、当日椅子を置くなどして四隅を指定すれば、比率を合わせる事が可能である。(歩測を使えば比率合わせは容易に行える。)

辺上、コントロールの位置に相当する場所に牛乳パックポストを設置する。そして

「席から眺め回して、見えるポストが何番に相当するか判断してください。見えやすい場所に移動するために少し席を離れても良いですが、他の方の視界を遮らない範囲でお願いします」と告げる。

10箇所全てにポストを置いてしまうとこの課題は簡単に達成できてしまうので、いくつかの円には置かず、ポストが置かれていない場所も判断してもらうようにする。

つまり、トレイルOのような「静的な実技」です。

しかし現地に行ってみると幸いにも講義室の前のロビーが広く(約15m四方)施設の職員さんの使用許可も得られました。これで、教室から出てロビーを歩き回るプログラムにアレンジできることとなります。

そこで席を離れ、歩き回って位置を判断してもらう形式にしました。加えて、ポストに書かれている漢字一文字(シールで貼り付けて準備)を丸の中に書き写し、ポストが設置されていない地点には「x」印を記入してもらうように説明しました。

一度にスタートすると混雑が避けられないので、座席の位置によって4グループに分け、「2分間隔でスタート」としました。早い方だと「3分間でフィニッシュ」できる内容だったため、適度な設定でした。

ポストを置かなかったのは2番と4番と5番でした。5番はともかく、2番と4番の判断は難しかったようです。そこで、答え合わせの後、次のような課題と解説を付け加えました。

<課題>

使った「地図」を裏返す。

それを「現在いる教室を表す地図」と見立てる。そして、自分の座席はその地図の中のどこに当たるかを指し示す

<解説>

「ご自分の大体の位置が分かったでしょうか…。

今、教壇から拝見していると、教室の前後左右の壁を眺め回している方が多くいらっしゃいました。そうですね。そうして、『どちらの壁寄りにいるか』『前の壁と後の壁それぞれ

れへの、あるいは右の壁と左の壁それぞれへの距離の比率はどのぐらいか』を確認すると座席の位置が大体特定できます。列の数を確認して、『この座席は前から何番目で後から何番目、右から何番目で左から何番目』と数えるのも良い方法です。先ほどの実技で『1番か2番か』『4番か6番か』迷った場合も、同じようにすれば判断できます。」

ここまでの説明で、大体要領を理解してもらえたという感触がありました。聴衆のかかなりの割合が主婦層（80人中女性が78人！）であることも手伝ってか、牛乳パックが興味を引き、作り方も尋ねられました。

しかし、これまでのプログラムはあくまでも「オリエンテーリングの考え方を応用したミニゲーム」であって、「オリエンテーリング」ではありません。「本物のオリエンテーリング」を見せつけないことには、筆者が講演に行く意味はない、というものです（？）

そこで、最後に2004年スウェーデンで行われた世界選手権の公式DVDの、ダイジェスト映像をプロジェクターで大寫しにして見てもらうことにしました。児童厚生員さんたちも見入っており、「オリエンテーリングの凄み」を感じ取ってくれたようでした。現に、最後の質疑応答の時間では競技に関するやや踏み込んだ質問も聞かれました。

こうしたプログラムを提供することが、即時のオリエンテーリング競技者の増加につながるかどうかは分かりません。それでも、オリエンテーリングが正しく、広く、印象深く伝わる確率が多少なりとも上がることは確かです。今後も機会を見つけて「伝える」ための活動を続けていきたいものです。（松澤俊行）

報告

富士こどもの国大会

2007年5月27日 静岡県富士市

小野盛光



富士こどもの国の園内を走るランナー
5月の富士山はとっても優雅

関谷・大金星を逃す

富士山こどもの国で5月27日（日）に公認S大会「富士山こどもの国大会」が開催された。この大会は前日のWOCミドルの選考会に続き、スプリントのセレクションも兼ねており、Eクラスのレースに注目が集まった。

公認大会のほうはJOAの強化委員会メンバーがあたり、静岡県協会は来場者にオリエンテーリングを体験していただくコーナーを担当し、普及に努めた。多くの人々が地図をもってこどもの国の中を歩いているのを見かけた。

募集開始が遅れた影響か、申込者はやや少なかったが、参加者は富士山のオープンの多い南斜面を駆けめぐった。富士山も3月のスプリングカップほどくっきりとはしていなかったが、常時顔見せてくれていた。

Eクラスは午前の予選により午後男女各6名が決勝レースに臨み、新規追加の林のトレインと通行しにくい草地に囲まれた岩石地をつかったトレインで行われた。男子は加藤弘之が制した。女子は、京大の関谷麻里絵がベテランの加納尚子に3分以上の差をつけて最短時間でゴールしたが、12番を通過しておらず、失格となり、「大金星」を逃した。関谷はレース後、非常に悔しがっていた。

（小野盛光）

M21E 決勝 2.4km	90m	
1 加藤弘之	0:17:25.2	ES 関東 C
2 山口大助	0:17:40.1	ES 関東 C
3 高橋善徳	0:17:45.2	みちの会
4 松澤俊行	0:18:05.7	三河 OLC
5 小泉成行	0:18:15.2	ときわ走林会
6 坂本貴史	0:18:32.4	入間市 OLC

W21E 決勝 2km	75m	
1 加納尚子	0:22:03.0	朱雀 OK
2 千葉光絵	0:23:07.3	Team 白樺
3 稲葉 茜	0:25:38.0	筑波大学
4 石山佳代子	0:29:39.5	横浜 OL クラブ
関谷麻里絵	DISQ	京大 OLC